

写真家の父ちゃんが、2歳の息子にあてた  
旅先からの手紙

父ちゃんから  
の手紙 ②

Letter from  
Dad



## 林太郎へ

トイレの壁にはつてある世界地図  
を見てごらん。父ちゃんは今、地図  
のいちばん西の端っこ、セネガルの  
アルマジという岬にいます。だいぶ  
遠くに来ました。

今日も一日中街を歩き、写真を撮  
りました。セネガルの女の人の服装  
はとても鮮やかです。赤や黄色のブ  
ブという民族衣装が、セネガル人の  
濃い褐色の肌によく似合います。背  
が低くて、肌の色が違う父ちゃんの  
ことをみんなぎよろぎよろと見て、  
ちよつと緊張します。でも、ここで  
海を眺めていると、ここがおうちか  
ら、遠い違う国だということを忘れ  
てしまいます。ゆつくりと暮れる夕  
日の美しさは、どこの国に來ても同  
じだからです。

こんなほつとする瞬間が好きで、  
父ちゃんは旅に出ます。

### 公文健太郎 (くもん けんたろう)

写真家。1981年生まれ。ネパールなど、国内外の被写体をテーマに作品を撮り続け、写真集や  
エッセイ、写真展などで発表している。2児の父。 <http://www.k-kumon.net/>